

経営比較分析表（令和6年度決算）

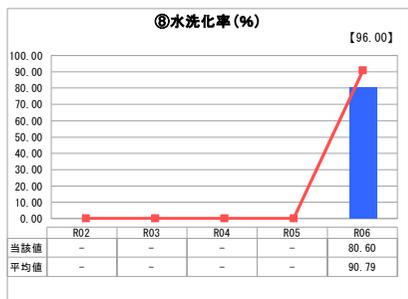
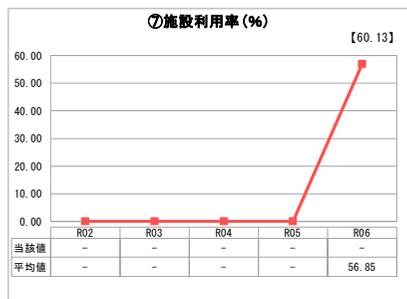
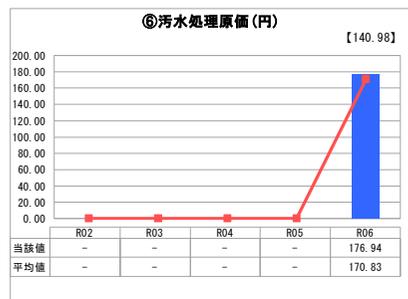
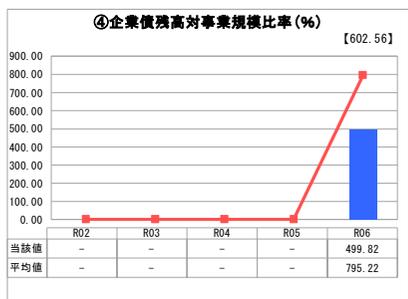
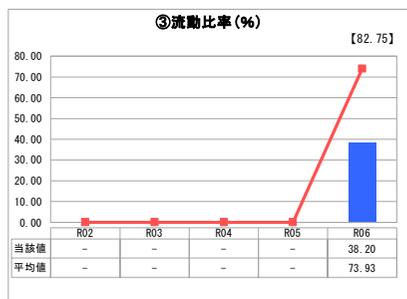
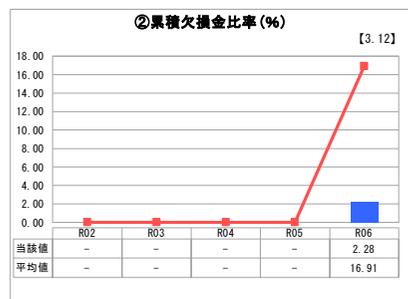
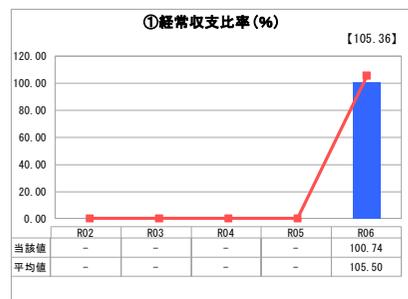
香川県 琴平町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	57.29	46.99	100.70	2,860

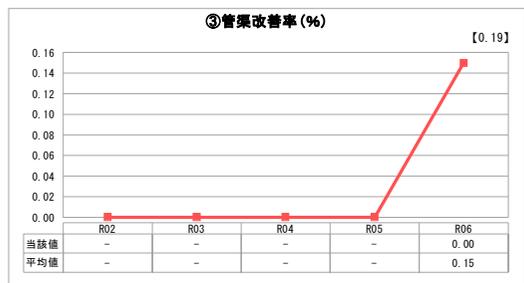
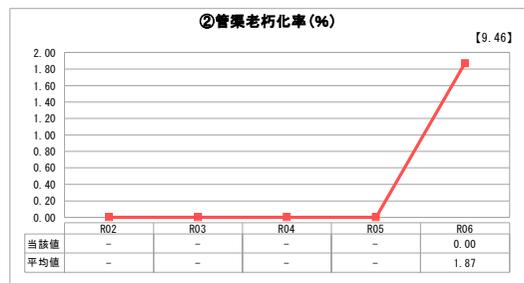
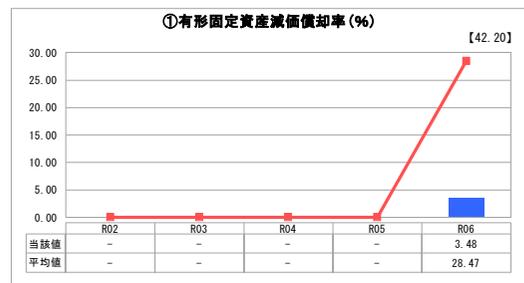
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,140	8.47	961.04
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,804	1.46	2,605.48

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率・⑤ 経費回収率
 経常収支比率は、一般会計からの繰入金により100%を上回っている。
 経費回収率は、使用料収入で汚水処理費が賄えていないため、100%を下回っているが、類似団体よりも高い水準である。

② 累積欠損金比率
 公営企業会計に移行した初年度であったため、特別損失として前年度事業費分が計上された。今後は欠損金が解消される予定である。

④ 企業債残高対事業規模比率
 起債償還額及び支払利息については、管渠の整備が完了しているため、年々減少していく予定である。

⑥ 汚水処理原価
 令和7年度から電気料金、燃料単価等の高騰により流域下水道維持管理負担金単価が増額されるため、今後は原価が上がっていくと思われる。

⑧ 水洗化率
 水洗化率の向上については、未接続の理由として経済的困難、高齢化、家屋の老朽化などが考えられる。こうした状況においても、引き続き広報やホームページ等で周知を行う。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率・② 管渠老朽化率
 下水道管渠の整備については昭和62年から順次整備を行い完了している。令和6年度においては最長で38年経過している。管渠の耐用年数は50年となっているため、現時点では、改築・更新作業は行わず、点検及び調査を行う予定である。
 マンホールポンプ場については、定期的な点検を行い、耐用年数を基に機械・電気設備の更新を行っていく。

全体総括

今後は、流域下水道維持管理負担金の増加や維持管理業務に係る費用が必要となるが、高齢化や人口減少により大幅な使用料収入の増加は見込めないため、適正な使用料への見直しを検討していく必要がある。
 また、令和6年度から地方公営企業会計を適用していることから、経年の決算状況も考慮しながら「経営状況の見える化」に留意し、持続可能な下水道事業運営に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非通用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。